

## 採血・静脈注射を受ける患者さんへ

当院では、採血・静脈注射を安全に受けていただくため、以下の取り組みを行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

### ご本人確認にご協力ください

患者間違い防止のため、ご自身のお名前をおっしゃってください。

### 採血・静脈注射の前にご相談ください

- ① 緊張しやすい、採血や点滴などでめまいや気分が悪くなったことがある方には、横になった状態で採血・静脈注射を行います。
- ② アルコール（消毒薬）やテープにかぶれやすい、皮膚が弱い方には、アルコール以外の消毒薬・かぶれにくい絆創膏等に変更いたします。
- ③ 皮膚炎、乳房の手術後、透析用のシャントなどがある方には、採血・静脈注射を行っても可能な部位を決めさせていただきます。

### 採血・静脈注射後の止血方法について

針を刺した部位は 5 分間程度、もまずにしっかり押さえる必要があります。障がいなどで押さえることが困難な方、血液をサラサラにするお薬を飲んでいらっしゃる方には、圧迫の方法などを決めさせていただきます。

### 一定の割合で採血・静脈注射に伴う合併症が発生します

治療が必要な場合は、適切に対応いたします。診療費は保険診療になります。

- ① 内出血は 1 週間程度で自然治癒することが殆どです。針を刺した部位は 5 分間程度もまずに、しっかり押さえてください。
- ② 採血・静脈注射前後、一時的に血圧が低下し、めまい・気分不快・意識消失などが起こることがあります。緊張や不安が強いと起こりやすく、採血・静脈注射を始める前から横になっていただきます。
- ③ 非常に稀に針先に神経が触れ、神経障害をきたすことがあります。血管の近くには神経の走行があり、針を刺した時、激しい痛みやしびれを感じることがあります。このような症状があれば我慢せず、すぐお申し出ください。針を抜いた後も手指へ広がる痛み、しびれなどが持続することがあります。約 4,500～3 万回の穿刺に 1 回程度起こるとされています。痛み、しびれが続く場合はお申し出ください。
- ④ 使用する薬剤の種類や血管がもろくて弱い場合、血管外に薬液が漏れ、炎症を起こすことがあります。針を刺した周囲の炎症や、持続する痛みがある場合はお申し出ください。